

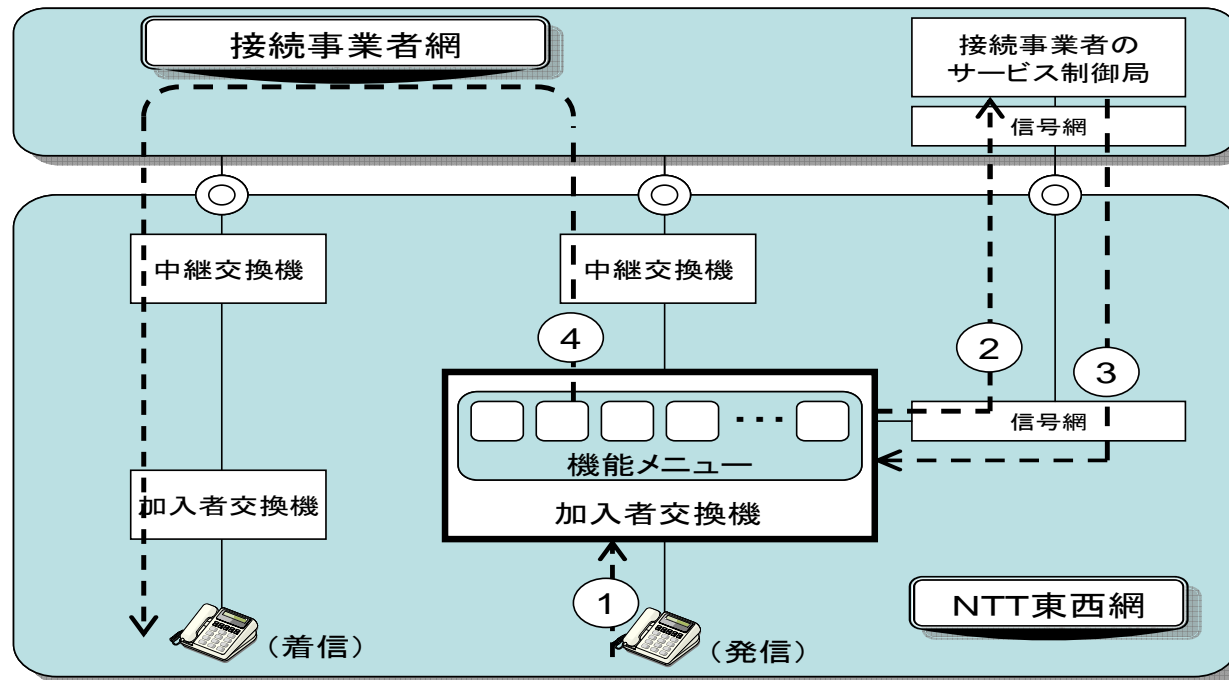
加入者交換機機能メニュー利用機能

【参考資料1】

接続事業者がフリーフォン等の高度サービスを提供するに当たり、個別にNTT東日本・西日本の加入者交換機においてソフトウェア変更等の網改造を行わなくとも済むよう、NTT東日本・西日本の加入者交換機にあらかじめ高度サービスに必要な機能をメニュー化して実装したもの。

接続事業者は、この機能を利用することにより、共通線信号網を介して自網のサービス制御局からNTT東日本・西日本の加入者交換機に指示を出すことでサービスの提供が可能となる。

【接続構成図】

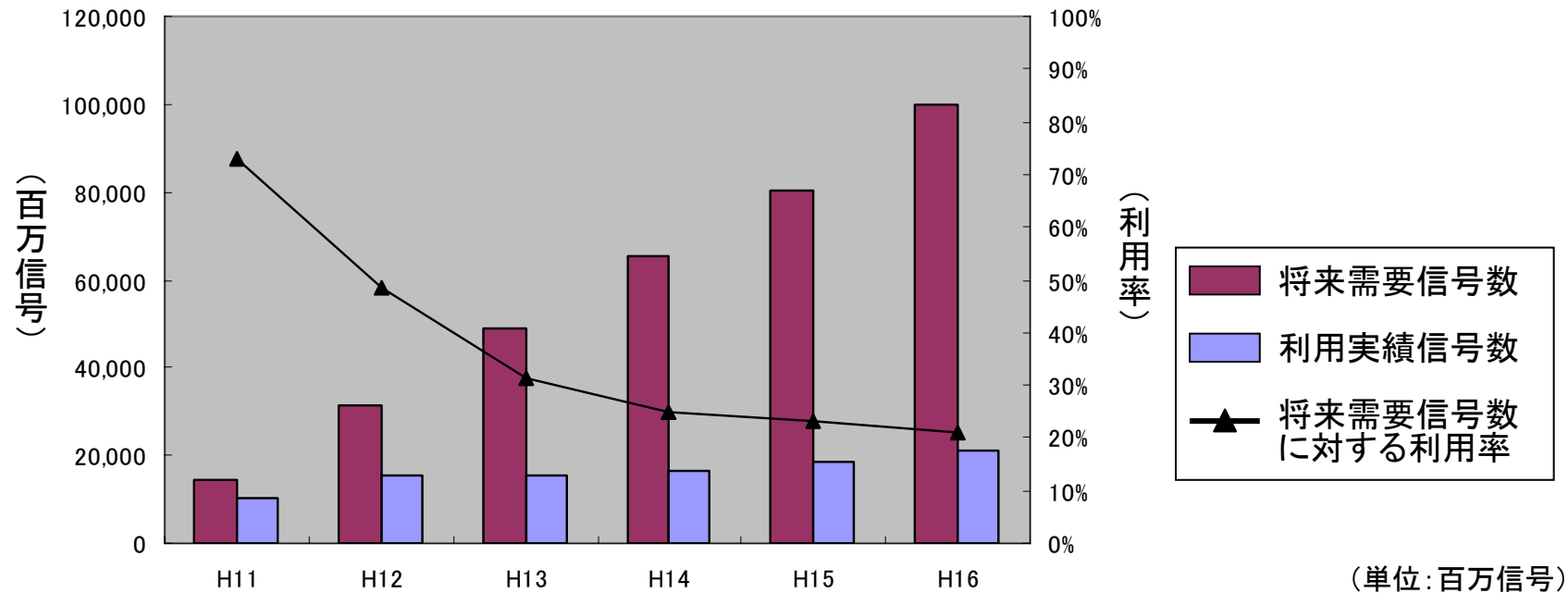


- ① 発信者のダイヤル番号により機能メニューを起動
- ② 接続事業者のサービス制御局に指示を要求
- ③ 加入者交換機へ指示（着側加入者回線、応答、切断の通知等）
- ④ サービス制御局からの指示に従い、着側加入者回線に接続

将来需要信号数と利用実績信号数の乖離について 【参考資料2】

現行の加入者交換機機能メニュー利用機能の接続料の算定に用いた将来需要信号数、並びに利用実績信号数及び利用率は下記のとおり。

将来需要信号数と利用実績信号数の状況



	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	計
①将来需要信号数	14,300	31,253	49,108	65,238	80,499	100,079	340,477
②利用実績信号数	10,417	15,220	15,467	16,251	18,647	20,943	96,945
将来需要信号数に対する利用率(②/①)	72.8%	48.7%	31.5%	24.9%	23.2%	20.9%	28.5%